

## 第1回 研究班合同セミナー開催報告

研究教育委員会 森 剛

第1回 研究班合同セミナーを下記のとおり開催いたしました。

日時：2024年10月26日（土）

場所：東京慈恵会医科大学附属病院 高木2号館

テーマ：乳がん診療の最新情報

～他モダリティに知って欲しいこと～

- (1) 乳腺撮影  
国立病院機構 埼玉病院 皆川 梓
- (2) 超音波検査  
東京慈恵会医科大学附属病院 越智 美紀
- (3) X線 CT 検査  
国立がん研究センター 碓 直樹
- (4) MRI 検査  
東京慈恵会医科大学附属病院 湯澤 安未
- (5) 放射線治療  
帝京大学医学部附属病院 上原 隆三
- (6) 核医学検査  
ゆうあいクリニック 神林 健児

参加者：会員6名、非会員1名

計7名

東京支部は他支部に類を見ないほど多くの研究班があり、モダリティを網羅しています。これまで研究班ごとにセミナーやフォーラムを開催し、活発してまいりました。我々はつい自分が所属している部署（モダリティ）を中心に疾患を考えてしまいがちですが、疾患を中心にマルチモダリティで考えるべきであり、それがチーム医療でもあります。今回一つのテーマ（疾患）に対しマルチモダリティでアプローチすることになりました。検査から治療そしてその後のフォローまでを一人の患者を中心に、時間軸で各講師にお話ししてもらいました。

患者想定として40代女性患者が初めての乳がん検診で要精密検査と判定され精査のため受診したところから始まり、検査の結果左乳がんと診断、放射線治療を行ってその後フォローでPET検査を行う、といった流れです。一連の流れで一つの疾患（部位）を追うというセミナー等は意外と少ないことから、受講者の皆さんは前後の検査を熟知することができ多くの吸収できたのではないかと思います。

今後も研究教育委員会として各研究班で支部会員の皆様の知識や技術の血肉となるよう研鑽を積み重ねてまいりたいと思います。

